沖縄テレビ

活動名	アナウンサーによる対面式の絵本の読み聞かせ
実施期間	令和 6 年 2 月 6 日
実施回数	会場 1 回

【事業実施の成果・課題】

アナウンサーのことをわかる子とわからない子がいたが、アナウンサーについて説明すると、興味津々になって注目していた。

冒頭ははしゃいでいたが、読み聞かせが始まると子どもたちは大変集中して聞き入っていた。作品の内容が、見た目や恰好で判断せず、内面をみてもだちになろうという内容だった。

感想を聞くと、みんな仲良くすることの大切さなどをしっかりと理解している意見もあり、大変感心した。

【事業担当者およびアナウンサー（講師・読み手）の感想】

<事業担当者>

何かに集中しているときの子どもたちの目はとてもまぶしいものだった。

普段触れることのないアナウンサーとのふれあいは子どもたちにとってもいい思い出になったように感じる。また、しっかりと絵本の内容を理解しようとしている姿も見られたため、実施してよかったと感じた。

<アナウンサー>

教室に入った瞬間から子どもたちにたくさん話かけてもらい、活気があってあたたかい雰囲気にとっても嬉しくなりました。

いざ読み聞かせが始まると、子どもたちは夢中になって一緒に声を出してくれたり、考えてくれたり、笑顔をこぼしたり。

みんなで本の世界を楽しみました。最後には子どもならではのやさしさと大人顔負けの表現が入り混じったすてきな感想を伝えてくれて、読み手としても多くの学びがある貴重な時間となりました。本当にありがとうございました。継続的にやっていきたいです。

【教諭・保育士・子どもたち・視聴者などの感想】

- ・園にとっても、普段合うことのないアナウンサーの読み聞かせが聞いて大変よかった。
- ・読み手のプロということで、声量の緩急や、感情を載せた読み方はさすがだと感じた。
- ・今後の保育士たちの読み聞かせにも生かしたい。

終了後も、読み聞かせ時の話をしてくる園児も多く、このような取り組みはぜひ継続してやってほしいと思った。